

## 旧統一教会側と「政策協定」

# 山田外務副大臣も署名

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の友好団体が国政選舉で自民党的国会議員に事実上の「政策協定」を求めていた問題で、

同党の山田賛同外務副大臣が28日、友好団体から提示された文書に署名していったことを明らかにした。「世界平和連合」の「推薦確認書」に昨年9月に署名したところ。

岸田政権の政務三役が「協定」を結んでいたと認めたのは、大串正樹デジタル兼内閣府（消費者局）担当副大臣に次いで2人目。

山田氏の事務所によると、昨秋の衆院選直前に団体側から文書を提示され、署名したという。山田氏は「選挙直前の慌ただしい中とはいえ、内容をよく確認せよ署名したことは軽率だった」「政治活動への影響

は一切ございません」と釈明。文書の具体的な内容については「かくとはわからぬ」（山田氏の秘書）といふ。

山田氏は、朝日新聞が8、9月に全国会議員を対象に実施した教団側の関係者をたずねるアンケートで「献金を受けたりパーティ券を貰つてもらつたりしたか」との問い合わせに「はい」と答え、接点を認めていた。

10/29 頃

## 木原副長官は推薦状

木原誠二官房副長官は28日の衆院内閣審査委員会で、昨年衆院選で世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の関連団体「世界平和連合」から推薦状を受け取っていた。

木原氏は、過去4回の衆院選で受け取った約1千件の推薦状のリストを調べたことを明らかにした。事実上の「政策協定」にあたる推薦確認書については、「交わした事実は確認され

足をしていた、正しくなかった。深く反省しおわびしたい」と述べた。

一方、「自主的にお持ちなかつた」とした。共産党の塙川鉄也氏の質問に答えられた。

木原氏は、過去4回の衆院選で受け取った約1千件の推薦状のリストを調べた際にわかったとし、「つまびらかに報告すべきだと恩づた。私、スタッフ、事務所も含めて当時の認識が不

足を示し、団体側から具体的な政策要望を受けたことはないと説明した。また、立憲民主党の本庄知史氏からは選挙運動への協力を受けていないか問われたが、「関連団体に選挙活動の支援をお願いしたことはない」と述べた。